大阪市水道事業管理規程第16号

大阪市水道局企業職員の特殊勤務手当に関する規程の一部を改正する規程

大阪市水道局企業職員の特殊勤務手当に関する規程（平成8年大阪市水道事業管理規程第5号）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改め、改正前欄及び改正後欄に対応して掲げるその標記部分に二重傍線を付した規定（以下「対象規定」という。）の改正前欄に掲げる対象規定を改正後欄に掲げる対象規定として移動し、改正後欄に掲げる対象規定で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものを加える。

改正後	改正前
<p><u>（趣旨）</u></p> <p>第1条 この規程は、<u>企業職員の給与の種類及び基準に関する条例（昭和41年大阪市条例第62号）第8条の規定に基づき、職員に支給する特殊勤務手当（以下「手当」という。）の支給に関し必要な事項を定めるものとする。</u></p> <p>（手当の種類）</p> <p>第2条 手当の種類は、次のとおりとする。</p> <p>[(1)～(4) 略]</p> <p><u>(5) 災害応急作業等派遣手当</u></p> <p><u>（災害応急作業等派遣手当）</u></p> <p><u>第7条 災害応急作業等派遣手当は、職員が、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波その他の異常な自然現象又は大規模な火災、爆発等が発生した場合において、災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第23条第1項又は第23条の2第1項の規定に基づ</u></p>	<p><u>（目的）</u></p> <p>第1条 この規程は、別に定めがあるもののほか、<u>企業職員の給与の種類及び基準に関する条例（昭和41年大阪市条例第62号）第8条の規定に基づき、大阪市水道局企業職員に対する特殊勤務手当（以下「手当」という。）の支給に関する事項を定めることを目的とする。</u></p> <p>（手当の種類）</p> <p>第2条 [同左]</p> <p>[(1)～(4) 同左]</p> <p>[新設]</p> <p>[新設]</p>

き災害対策本部が設置された本市以外の地方公共団体の区域に派遣されて行う災害応急対策又は災害復旧に係る作業又は業務に従事したときに支給する。ただし、当該区域を管轄する地方公共団体から当該作業又は業務に対する給与その他の給付の支給を受ける職員については、この限りでない。

2 前項に規定する手当の額は、作業又は業務に従事した日1日につき、1,080円（作業又は業務の全部又は一部が深夜（午後10時から翌日の午前5時までをいう。）において行われた場合にあつては、1,620円）とする。

第8条～第11条 [略]

第7条～第10条 [同左]

備考 表中の[]の記載及び対象規定の二重傍線を付した標記部分を除く全体に付した傍線は注記である。

附 則

- 1 この規程は、公布の日から施行し、この規程による改正後の大阪市水道局企業職員の特殊勤務手当に関する規程第2条及び第7条の規定は、令和6年1月1日から適用する。
- 2 この規程の施行に伴う清算その他必要な事項は、大阪市水道局長が定める。